

「感動」を生む家づくりの数々！ 「はなおか」が選ばれる理由とは？

はなおか

注文住宅着工棟数 13年連続1位

平成20年から毎年100棟以上の新築注文住宅を施工している「はなおか」。現在徳島県で一番多くの注文住宅をつくっている会社だ。

「ゴムで揺れを吸収する制震ユニット」「ミライエ」、つなぎ目のないベタ基礎工法、高い防火性能を持つ省令準耐火構造、ねじれに強い剛床構造、断熱材など住宅性能にこだわり、また腕利きの専属大工が施工することで技術の安定を図っている。このように、家そのものの価値が高いことも選ばれている理由だが、感動を呼ぶ働く人たちの『人間力』こそが同社の一番の強みだと言える。営業や設計をはじめ、現場監督に専属大工、総務とすべての社員が「お客様のために」を言葉に日々奔走している。「人ひとりが常に学び、改善し、憧れのマイホームへの想いをカタチにする努力をいとわない。」「お客様に感動されて、応援される会社になりたい」。その目標に向かって社員一丸となり、本気で目指している姿勢こそが、選ばれ続けている最大の理由なのだ。次のページから紹介するお施主様たちの生の声から、はなおかの家づくりの魅力をぜひ知ってほしい。

徳島市・I様邸の広くて開放的なリビング。詳細は次ページをチェックして。



屋上スカイバルコニーは家族の安らぎの場。今年の冬は雪が積もり、子どもたちは大喜びだったそう。



木の色合いがアクセントになっているスタイリッシュな外観。家の中が川を望む開放的な空間になっているとは想像もつかない!



「子どもたちが大きくなってもリビングに集まりたい」と願っている様は、都会的であり、広くて開放的なリビングを実現。



様ファミリーと営業の吉田裕二さん(写真右)。

徳島市・I様邸

竣工／2016年12月
構造／在来軸組工法
延床面積／144.69㎡
設計／はなおか
施工／はなおか

と奥様が言えば、「吉田さんが提案してくれた都市型でスタイリッシュなデザインが良いですね。また、はなおかのみなさんは誠実で元氣がある方たちばかり。建てた後も、アフターメンテナンスなどしっかりと対応してくれます」とご主人も相好を崩した。

施主インタビュー



2階ダイニングスペース。特注の大きな窓から見える景色に日々うっとり…。

四季を感じられる 自然と共生する家

◆徳島市・I様邸

「夏の朝キッチンに立つたときに、リビングに反射する川の光がとってもきれいなんです」と奥様。川沿いの閑静な土地を購入したI様ご夫婦は、美しい眺望とともに暮らすライフスタイルを夢見て、2階にリビング・ダイニングを設けた。大きな窓から見える景色は日々変化があり、家の中にいながら季節の移ろいを感じられる。また、「家で花火を見たい」とのご主人たつての希望は、屋上に造ったスカイバルコニーで実現。吉野川フェスティバルのときは、友だちや親戚たちを呼んで花火鑑賞を楽しんでいるのだとか。

街中でありながら、緩やかな時間が流れる住まいを手に入れたI様。その家づくりは営業の吉田裕二さんとの出会いから始まった。本格的にマイホームを考え始めたI様は「はなおか」の完成見学会に参加。そこで吉田さんに案内してもらったのだ。「第一印象から良い印象を持っていました。吉田さんはガツガツと来るわけではなく、でもこちらが欲しい情報を教えてくれました。距離感が心地良いですね」。建築中は1〜2週間に1回は現場を訪問したというI様。「大工の三金さんは毎回進捗具合を丁寧に説明してくださり、安心できました。現場がいつもキレイだったのも好印象でした!」



キッチン横にある造り付けのカウンターテーブルは、子どもたちが勉強したり遊んだりできるとっておきの場所。



カフェのようなダイニングスペース。キッチンカウンターの収納扉と飾り棚、テーブルが統一感がありとってもオシャレ!



!様ファミリーと営業担当の糸田川稜平さん。「糸田川さんは相談しやすい雰囲気のある方で、私たちの要望を丁寧に聞き取ってくれました」。



柔らかな自然光が降り注ぐ吹き抜けのリビング。



落ち着きの中にも可愛さを感じるナチュラルテイストな外観。



和の趣きを感じるプチ庭園。

■ 徳島市・I様邸
竣工／2017年10月
構造／在来軸組工法
延床面積／139.53㎡
設計／はなおか
施工／はなおか

住み心地が良くなったと不満がないと笑顔で語るご夫婦は、建築中の大工さんとのエピソードも教えてくれた。「よく現場を見に行っていました、大工さんとはいつも1時間くらい話をしていました。あるときは釣った魚をプレゼントしてくれたり、息子のために木のおもちゃを作ってくれたり。受け渡しの日にはすごくいい香りがする木のオブジェもいただきました。私たちは、すべてのスタッフさんたちに感謝しています」。

吹き抜けでリビングと2階が繋がる開放的な空間。

施主インタビュー



木の優しさに包まれた
暮らしやすい家

◆徳島市・I様邸

モデルハウスSHABBY(シャビイ)を訪ねて「落ち着いた雰囲気、いくつも見ただ中で「一番良かった」と感銘を受け、また施工実績が徳島で「一番多く」「安心して任せられる」ことから、はなおかに依頼することに決めました」。

長く暮らしていく我が家だからこそ、おしゃれ感と暮らしやすさに重点を置いた。デザインはSHABBYに似せたアンティーク調のやさしげな空間に。奥様は快適でラクな生活動線に特にこだわりの玄関から洗面・脱衣所、お風呂、パントリー、キッチンを階段を軸にぐるぐると回れる配置にした。「営業の糸田川さんはアイデアをいっぱいくれました。こんな素材でこんなのがいいと伝えると、次の打ち合わせ時に選択肢を豊富に用意してくれるから、納得いくまで検討できました。また、設計の金澤さんが家具や照明も含めて空間をトータルコーディネートしてくれたおかげで、素敵なお家が完成しました」と奥様はにっこり。ちなみにご主人が希望した吹き抜けは「寒さを心配していた」そうだが、初めて迎えた冬は1階にあるリビングのエアコン1台で2階の寝室まで暖かさが行き渡り非常に快適だった。「気密性・断熱性にも優れた家だと実感しています」。

“感動”を生む家づくりの数々! 「はなおか」が選ばれる理由とは?
はなおか



広くて開放的なリビング・ダイニング。「冬はエアコン1台で快適に過ごせました」とM様。



まるで高級ホテルのようなオシャレな洗面スペース。



とにかく広い駐車場。「庭にテントを張って家キャンプをしたい!」との野望も(笑)。



M様ファミリーと営業担当の栗田宗一郎さん(写真右)。



施主インタビュー

小上がりの畳スペースは、ちょっと腰掛けておしゃべりするのにもとっても便利なんだそう。

友だちとの時間を 優しく包み込む家

◆小松島市・M様邸

週に2・3回は友人たちが遊びに来たり泊まったり…。そんな日々を過ごしていたM様たつての希望は、友人たちが過ごしやすい家にあることだった。リビングを広く取ることはもちろん、視覚的にも広く見えるよう上部を吹き抜けに。また、大人数が遊びに来てみんなが座ってくつろげるよう小上がりの畳スペースを設けた。友だちが寝る場所として、さらには2人の娘たちの遊び場としても活躍している。次に特筆すべきポイントは、とにかく広い駐車場と庭。車を最大10台(ー)停めることができ、ご夫婦が大好きなバーベキューができる庭も完備。「バーベキューは多いときで年に10〜15回はしています。友だちがたくさん来ても車を停められる駐車スペースとバーベキューができる空間を確保したい、それが土地探しの条件でした」とご主人が教えてくれた。取材日もバーベキューを予定していたようで、続々と友人たちが集まり、和気あいあいとした雰囲気の中準備が進められていく。ご夫婦が思い描いていた、理想の暮らしが実現していた。ちなみに、ふたりともがこだわったというキッチンは、料理が得意なご主人と奥様が一緒に立てるようアイランド型に。素材は掃除がしやすいホーローを選んだ。

「休みの日はいつも僕が晩御飯を作っています。最近は和食をよく作っていますね」。

M様ご夫婦がはなおかを選んだ一番の理由は、先述したふたりの想いをカタチにする提案力であり、設計力だった。それに営業の栗田宗一郎さんの明るく気さくな人柄や細かいところまで要望を聞き入れてくれる顧客思いの姿勢がプラスされ、納得のマイホームが完成した。

■ 小松島市・M様邸

竣工／2017年12月
構造／在来軸組工法
延床面積／135.80㎡
設計／はなおか
施工／はなおか

7年後のはなおか物語

◆徳島市・N様邸

7年前に「はなおか」でマイホームを建てたN様。他社も数件訪問したと言うが「はなおかに決めた理由は何だろう?」「はなおかさんと言うよりは、営業の宮北さんで決めました。彼は口数が多い方ではありませんが、いるだけで安心感があり、ホッとする人。いつ建てる?うちなら金額はこれくらいですよって勧めてくるのが普通ですが、彼は自然な会話の中から私が必要とする情報を真摯に投げかけてくれました」。宮北さんという人間を心底信頼できたからこそその結果だ。N様は茶道と華道の先生をしていて、当初は2階に稽古場を作ろうと考えていたが、生徒さんが入りやすいよう1階に稽古場を、2階に生活空間を設けることに。「設計担当は専務の花岡真理さん。打ち合わせのたびにプランを仕上げてもらい、度重なる間取り変更に根気良くつきあってくれました。満足のいくお家ができたのは専務さんのおかげです。本当に素晴らしい方です」。2階の生活拠点は夏は涼しい風がよく通り、冬は暖かい。また、湯船に浸かりながら月を眺めることができるのもN様お気に入りだ。ご主人も「頑丈で頼りになる家だ」と満足している様子。

2016年の秋頃、1階の稽古場をリフォームした。使っているうちに、水屋

(茶道具を扱う場所)の位置が不便だと感じたからだ。相談に乗ってくれたのは、同社のリフォーム担当の宮田さん。「女性でありながら男気のあるハンサムガールです(笑)。できるできないを即答してくれるし、何に対しても対応が早いことに感激しました」。ちなみに水屋の設えは特殊であり、場所を変えるのは非常に難しい作業。でも、全く新しいものを作ればコストが跳ね上がる。そこで元々使っていたものを移動させることにしたが、こども専属大工の技術力が光った。「思っていたとおりに再生してくれました!」と大満足だ。

この7年間、何かあれば宮北さんに電話をしてきたと言うN様。「私のとりとめのない話にも真剣につきあってもらい、真面目な人柄に気持ちが高まりました。お会いするのは1年に1回程度(お歳暮時期)ですが、会えば変わらず同じ雰囲気でお話できます。このようなおつきあいのでられるのは、宮北さんのせいですね。それからもう一言、私の思い通りにさせてくれた夫に感謝(笑)」。家は「建てたら終わり」ではなく、建ててからが本当のお付き合い。はなおかの家づくりはその王道をゆく。引渡し以降も、お施主さんの暮らしに深く携わっているのだ。



生活スタイルに合わせて作られた客間にも使える1階の茶室。「住む人のことを想ってつくられています」とN様。



茶道に励む生徒さん曰く「初めて茶室に入ったときに、すばらしい! こんなところでお稽古ができるんだ、と嬉しかったですね」。



約3年前にリフォームして、より使いやすくなった“水屋”。



外壁には、約30年間塗り替えが必要のない光セラコーティングを施している。



茶室に入る前に手を清める“つくばい”(冬場には湯おけを置いている)。



営業担当の宮北圭二さんと談笑するN様。



白と黒でスタイリッシュにまとめられた和モダン住宅「風花」。



木の温かみを感じられるオープンキッチンとダイニングテーブルを繋げた動線で、料理の準備がしやすい!



i-worksとは、狭小住宅を得意とする建築家の伊礼智氏による企画住宅シリーズ。



コンパクトな空間とは思えない開放的なリビング。リビング階段の1段目は高さがあり、ちょっとしたベンチにもなる。

伝統美を受け継ぐ
和ごころ、進化系

◆モデルハウス 風花(Kaza-hana)

京都の町屋のような風情漂う外観、漆喰や珪藻土が塗られた自然素材の壁や大きな黒い梁、雪見障子を取り入れた本物志向の和室、玄関から家の裏まで続く通り土間…。これら伝統的なデザインに現代技術が融合したモデルハウスは、日本人の心に響く。

●徳島市八万町沖須賀1-30(はなおか分譲地「ネクステージ沖浜」内)／朝10時〜夕方5時／※ご来場の際は事務所にお問い合わせを。



趣深い純和風の格子があるウッドデッキ。リビング・ダイニングと繋がっていて、家族の憩いの場の延長線として利用できる。

小さな住宅に詰まった
心地よさを提案

◆モデルハウス i-works1.2

「小さな家でゆたかに暮らす」がコンセプト。建物はコンパクトで佇まいを小さくまとめることを重視し、それにより、庭や駐車スペースがゆったりとれ、またコストの無駄が抑えられるため質の良い材料を使えるといった利点が生まれる。

●北島町鯛浜(はなおか分譲地「ネクステージ鯛浜」内)／朝9時〜夕方5時／無休(年末年始は休)※ご来場の際は事務所にお問い合わせを。



著名な造園家・荻野寿也氏がプロデュースした庭。ウッドデッキと見事に融合している。



無垢材やスイス漆喰など、カラダに優しい自然素材をふんだんに取り入れたリビングダイニング。世代を超えて住み続けられるように、各部屋にあえて目的を設定せず、家族の成長やライフスタイルの変化に緩やかに対応できる“可変性を重視した”間取りに。



リビングや和室と繋がっている中庭が家の中心。



長期優良住宅と認定低炭素住宅を取得し、2020年の省エネ基準もクリアした高度省エネモデルハウス「hale」。

素^スロ^ロな暮らしを
育む平屋の家

◆モデルハウス hale

慌ただしい世の中でも、マイスタイルマイペースで暮らしの価値を見出してほしい。そんな想いで誕生したのが、平屋のモデルハウス。家族の憩いの場として、気配を感じられる安心空間として、素^スロ^ロな暮らしを彩る。

●北島町鯛浜(はなおか分譲地「ネクステージ鯛浜」内)／朝9時〜夕方5時／無休(年末年始は休)※ご来場の際は事務所にお問い合わせを。



お客様のためにいい家をつくりたい…。そのために、はなおかの専属大工たちは現場仕事だけではなく、毎月1回開催されている大工会議にも参加している。新しい技術を吸収したり、意見交換等で常にレベルアップに努めているのだ。

日々継承されていく 専属大工の想い

「家の下地など見えない部分から仕上げまで、すべての仕事で手間を惜しまずきつちりやり遂げたいと心がけています。はなおかの専属大工には自分よりもっとすごい人がいて、その人たちには敵わないですが(笑)」。そう謙遜するのは、大工歴37年の山口康弘さん(55歳)。はなおかの専属大工に所属して今年10年目となる頼れる棟梁大工だ。同社には腕利きの専属大工が50人以上在籍している。ただし、はなおかの家づくりの根幹をなすだけに、誰でも所属できるという訳ではない。他の専属大工からの推薦があつてはじめて面接が受けられるという徹底ぶりだ。だからこそ、彼らの技術力は傑出している。「所属した当初は、他の大工が現場を訪れたお施主さんに進捗具合などを丁寧に説明しているのを見て驚きました」。専属大工としての姿勢を目の当たりにし、山口さんもお施主さんとの触れ合いをより大切にするようになった。「自分よりも若いお客さんが多いので世間話はあまりできませんが、聞かれたことに関してはきちんと説明しています」とはにかむ。「はなおかは社長をはじめ、すべてのスタッフが自分がお客さんになった気持ちで考え、行動しています。だからこそ、我々専属大工もお客さんのことを一番に考えて仕事をしています」。

そんな山口さんの下で修行をしている若手の大工がいる。高校卒業後から大工



右からはなおか専属大工の山口康弘さんと、山口さんの下で日々鍛錬している若手大工の北尾祥太さん。

の道へと進んだ北尾祥太さん(23歳)で、1年半ほど前にはなおか専属大工見習いとして働きました。「はなおかの仕事の仕方を教えるために預かっています。彼はすごく真面目で日々頑張っていますが、一人前にはまだまだ。あと2年くらいしたら独り立ちできるかな、と思っています」と山口さんは目を細める。「山口さんはとってもいい人。あかるときは、ちゃんと怒ってくれます。仕事は大変ですが、自分が手がけたものがキレイに仕上がったときは達成感があります。楽しいですね」と北尾さん。「仕事を早く覚えて一人前になり、お客さんに喜んでいただける大工になりたい」と前を見据える。はなおかでお家を建てる未来のお施主さんのために、はなおか専属大工の技術と人間力は継承されていく。



人間性に満ち溢れたはなおかのスタッフたち。2017年2月に発表された「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」では「中小企業基盤整備機構四国本部長賞」を受賞した。

一番の魅力は『人間力』

創業以来、「人間力を高めること」に本気で取り組んできた代表取締役の花岡秀芳さん。そこから生まれた会社の理念は、正直に王道を行く。素直な心でお客様の気持ちに立ち、正しいこと、正しくないことを判断し、信用・信頼されるために一歩ずつ着実に歩むこと。社員全員がその理念を胸に秘め、社訓である「親切に丁寧いきつちりと」を日々実行し続けてきた。注文住宅着工棟数が地元住宅会社中13年連続1位、大手ハウスメーカーを含めた全住宅会社の中でも5年連続1位。この数字は、お客様のために何ができるのか?を積み重ねてきた結果だと言えるだろう。



最新の技術や設備をはじめ様々な提案をしてくれる営業部のスタッフ。毎年100棟以上の施工に携わっているだけに知識と経験が豊富!



工務部と建築部のスタッフ。経験豊富な現場監督が多数揃っているのが魅力で、入居後のアフターフォローやメンテナンスもおまかせあれ。



お客様の夢や憧れをカタチにする設計部のスタッフ。ママの負担を軽減する生活導線を提案してくれる女性設計士も多数在籍している。

「応援される、愛される会社」を目指して

はなおかでマイホームの営業を始めてから17年目となる天羽英樹さん。日々どんな想いで家づくりに邁進しているのだろうか?

「我々がご提案する家の断熱や耐震等の性能がいいのは当たり前。それ以上に大切にしていることは、お客様それぞれの要望を、いかにカタチにするのか、ということです。例えば足の不自由なおじいちゃんがいる方ならお風呂で溺れないようにしたい、小さなお子様がいる方なら子どもが遊んでいる様子をキッチンから見守れるようにしたいなど、お客様によって望んでいることは違います。その想いを具現化することが、はなおかの家づくりです」。そう語る想いの根底には、天羽さん自身の経験も重なっている。「私には3人の子どもがいますが、自身の家を建てる時、図面に真つ先に描いたのが砂場だったんです。子どもたちが砂場で遊んでいる姿、ダイニングテーブルから子どもたちの様子を眺めている自分の姿をイメージしていました。お客様にとっても、叶えたい生活シーンやイメージをカタチにしてくれることが一番大切なことではないでしょうか。ですから、私はお客様に休日の過ごし方をよく聞いています。お客様の楽しみや要望を実現できるように、建物と土地、庭まで含めて様々なご提案をしております」。この想いを他の

営業担当や設計、工務、大工、総務に至るまで全員が共有しているのが同社の強みでもある。

モノ売りではなくコト売りになりたい――。そうありたいと、天羽さんがいつも意識している言葉だ。「モノ売り」だと高い、安いという価値観にとらわれてしまいが、「コト売り」は体験や感動を提供する。「豊かな暮らし」に対する定義は人それぞれですが、それをカタチにすることこそが、はなおかがお客様から必要とされている理由だと思えます」。

今、会社として目指していること。それは、「応援される会社、愛される会社」になることだ。「とても難しいことです。感動がないと、満足感や充足感がないと、応援していただけません。そのために、私たちは自主的に学び、お客様に伝えていくことを大切にしています。業務とは対価をいただいているのでやって当たり前のこと、仕事とは自分や関わる人と一緒に成長することができる行動だと考えています。ゼロエネルギー住宅や耐震、断熱、エコやトレンドの商品を社内外の研修で学び続けるのはもちろん、いつもアンテナを張って、お客様が求めることに応えられるよう精進しています」。社員全員が自分を律して学び、お客様に伝えていくことで感動を提供する。それが、ひいては応援

される会社へと続く道なのだと天羽さんは考える。「ゴールがないことへの挑戦なので、やり続けたいといけません」。

感動を生み出す取り組みは完成見学会にも及んでいる。訪れたお客様に必ず渡しているという見所をまとめた紙。そこには見学会のポイントが詰まっいて、限られた時間で重要な箇所を見てもらうための工夫が随所に散りばめられている。お施主様や営業担当、設計担当の声も紹介していて、「参考になる!」と評価も高い。また、小さな子ども連れでもゆつくりと見学できるようキッズコーナーを設置。スタッフが常に見守り、子どもたちが「またはなおかに行きたい!」と言うほど楽しんでくれているのだとか。

るのだとか。他にも移動カフェを呼んだり、自社で石焼き芋カーを購入してお客様に振る舞ったり、お客様に喜んでもらうために何ができるのかを模索し、実行しているのだ。訪問してくれたお客様が書いたアンケートで「参考になった! 楽しかった!」との声が突出しているのもうなずける。

天羽さんが教えてくれた、想いとその想いを実行するパワーと工夫。これらの積み重ねが、毎年100棟以上の注文住宅を着工している実績へと繋がっているのだろう。



はなおか営業部長の天羽英樹さん。2012年3月に立命館大学大学院 経営管理研究科を卒業し、「MBA」を取得している。

NEWS1

「第6回四国でいちばん大切にしたい会社大賞」受賞!

四国内の研究機関や産業支援機関などをつくる四国地域イノベーション創出協議会が2011年度に創設した「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」。2017年2月17日に6回目となる会社大賞が発表され、見事「はなおか」が中小企業基盤整備機構四国本部長賞を受賞した。住宅業界では初めての栄誉だ。

2017年2月28日に開催された授賞式の様子。花岡社長を中心に社員たちの笑顔が並ぶ。



NEWS2

新事務所オープン

今年秋にオープンする予定のはなおかの新事務所。現事務所のはす向かいの分譲地内に建築中だ。1階はお客様と打ち合わせをしたりOB施主に開放するカフェスペースに、2階は社員が打ち合わせをする会議室になる。同社モデルハウスからも近いので、ぜひ、立ち寄ってみて。



新事務所のイメージパース。

NEWS3

SME格付け「aaa」を取得

2018年1月、米大手格付会社「S&P Global Market Intelligence (スタンダード・アンド・プアーズ・グローバル・マーケット・インテリジェンス)」より、国内中堅・中小企業向け格付けサービス『日本SME格付け』において最上位である「aaa(トリプル・エー)」を四国の企業では初めて取得! 「aaa」は日本の中堅・中小企業間の比較において、債務を履行する能力は極めて高いという評価で、ccc～aaaの7段階の中で一番最上位となる。



NEWS5

制震ユニット『ミライエ』を標準採用

「はなおか」はゴムで揺れを吸収する制震ユニット「ミライエ」を標準採用(2016年4月～)。優れたエネルギー吸収性能を持つ高減衰ゴムが揺れを最大70%吸収(※1)し、繰り返す地震にも効果を発揮する。また、高減衰ゴムは90年(※2)経過しても性能がほとんど変わらないことが実験で確認されている。



※1.実大振動台実験による。 ※2.促進劣化試験の結果による。

NEWS4

「とくしま協働の森づくり事業」に参加

企業や一般家庭から排出されるCO2のうち、自身で削減できない部分を間伐や植林など森林整備による吸収で埋め合わせる「カーボンオフセット」の仕組みをモデル的に実施する事業のこと。「はなおか」は2011年8月から参加して、現在徳島の森を4カ所守っている。



徳島県知事からパートナーシップ協定書を手渡される総合企画部長の森茂樹さん。

はなおか

088-698-1114

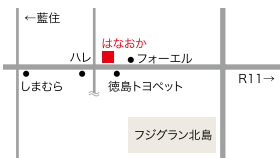
北島町鯛浜西ノ須162-9

朝9時～夜6時

無休(年末年始は休み)

http://www.k-hanaoka.com/

巻末地図B・2か



有資格者

- ・一級建築士5名
- ・二級建築士18名
- ・宅地建物取引士17名
- ・インテリアコーディネーター5名
- ・耐震診断員8名
- ・一級建築施工管理技士1名
- ・二級建築施工管理技士7名
- ・整理収納アドバイザー1級1名
- ・整理収納アドバイザー2級17名

メッセージ

今までもこれからも、創業の強い思いである、経営理念「正直に王道を行く」、社訓「親切に、丁寧に、きっちりと」、社風「自由・活発」を維持発展させていき、本当にお客様目線に立って事を成せているかを常に意識しながら、将来に向けて、拡大ではなく、進化することを目指します。